

マタイの福音書を読む

Vol.2

伝道師
小林佳雄



今回は、マタイの福音書4章1-4節、イエス様が悪魔の誘惑をはねのける場面です。イエス様は荒野に行かれ、40日間の断食をされたあと、悪魔がすさまじい空腹のイエス様に近づき、「あなたが神の子なら、これらの石がパンになるように命じなさい。」(マタイの福音書4章4節)とそそのかします。

ここで、悪魔はイエス様のことを「神の子」なのだからと言っています。自分の思い通りに仕向けたいという悪魔の思いが見え隠れしています。もし、石をパンに変えるという奇跡をイエス様が行なえば、悪魔は「この私がイエスに命令したから、奇蹟を起こしたんだ」と強く主張することができるからです。

ところで、「パン」ですが、私たち現代人にとれば、パンというよりもお金と言ったほうがわかりやすいかもしれません。日常生活をしていくうえで、お金がないと不安になります。けれども、お金を第一にして、自分の権利や利益だけのために必死に稼いでも、心温まるような幸せを手にはすることはできません。まことの神様とのつながりや人とのつながりが私たちにとってなくてはならない

ものだからです。

イエス様は自らの飢え渴きを満たすために、神の子としての権威を誤って使おうとは決してなされませんでした。悪魔に向かってイエス様は次のように宣言し、悪魔の巧妙な誘惑をはねのけます。

「人はパンだけで生きるのではなく、神の口から出る一つ一つのことばで生きる」

(マタイの福音書4章4節)

イエス様は聖書の神のことばを武器にして、悪魔の誘惑を無力にしました。このことは、私たち人間の救いにとって特に重要な意味を持ちます。私たちは、心の中から神様を追い出し、神様から離れようとする者です。しかし、神様に心を向け、イエス様を自分の救い主と信じて受け入れていくなれば、私たちも神の子とされます。私たちの必要を満たしてくださる一番の大元である天の父なる神様を第一にして、神様のご愛の中に留まり続けたいと願います。神様はいつも私たちと共に歩られます。神の御子イエス様を信じてご一緒に歩んでまいりましょう。

Blessing Shower

「共に歩んでくださる方」 柿園 欣子



子供の頃から「目に見えないけれど、神様はおられるのよ。」と母に言われて育ちました。社会人になって会社の同僚から、昼休みの間にショートメッセージをする教会があると誘われ、その教会でメッセージを聞いて、とても清々しく感じ、自分のいる場所はここだと思いました。その教会に行き始め、退社後は母の通っていた教会に行き、一年後に洗礼を受けました。

子育てをする中で、自分の生まれ持った性格、考え方など自分の姿に気がされました。どの様に子供と向き合ったら良いのか分からず、子供達の誕生をゆっくり喜び、育てるという心のゆとりが持てませんでした。子育てについて色々学びましたが、結局、自分の力でどうしようも出来ないことに気づきました。その思いを神に祈ると、子供は自分とは違う人格である事、ひとりひとり違った人間として命を与え、育ててくださる事を知らされました。そして子育てを通して、何がなくても子供に信仰さえあれば、生涯どのような事に出会っても生きていけると思い、子供達にとって信仰継承が何よりも大切だと思うようになりました。

その後、主人の突然の死という出来事がありました。しかし不思議ですが、聖書と祈りを通して、少しずつ現実生活への対処を身につけ、悲しみだけでなく全てのことを感謝出来るようになりました。

“あなたが右に行くにも左に行くにも、うしろから「これが道だ。これに歩め」と言うことばを、あなたの耳は聞く。”(イザヤ書30章21節)



くまモン
ごーや

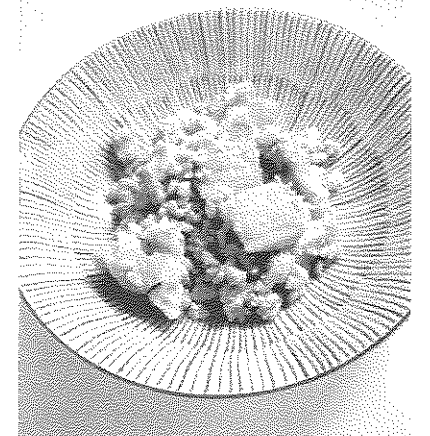
子どもが喜ぶレシピ 「厚揚げと豚こまの炒め物」

◆材料◆

厚揚げ	二枚
豚こま	200g
ゴマ油	大1
(タレ)	
味噌	小さじ1
焼肉のタレ	大1

◆作り方◆

- ① 厚揚げ半分は切って1センチ幅に切る。肉はそのまま。
- ② フライパンにゴマ油大1を入れて厚揚げを入れ炒め、肉を入れ炒める。厚揚げを崩さない様に炒めタレを絡める。いんげんやゴーヤを彩りに入れてOK。



by くまモン

真珠貝の祈り

吉田 由起子

こころのまん中に
傷を受けた貝が
真珠を育てる
という

青海原の底
潮(うしお)に揺られ
揺られ
ただ黙って
傷をおおい
傷をつつみ
絹を着せ
やがて一粒の輝きをつくる

真珠は母貝を離れ
いつの日か

貝の祈りに涙するだろう
自らを知って泣くだろう

そのとき
真珠は真珠になるのです
そのとき

貝は受けた苦しみに満足するのです

希望のダイヤル

毎週メッセージが変わります

0798-20-9666

パソコン、スマホからYouTubeでも視聴できます。
一麦西宮教会で検索してください